

## 18. <sup>りくぜんはまかいどう</sup>陸前浜街道—<sup>じゅうおうざかごえ</sup>十王坂越

選定箇所：十王坂～伊師町（日立市）

概要：明治5（1872）年4月、武蔵国千住（現在の東京都足立区）から水戸道中、岩城相馬道（岩城相馬街道）を経て陸前国岩沼（現在の宮城県岩沼市）までを「陸前浜街道」と呼ぶ通達が出された。その後、番号制により東京—仙台間が現在の一般国道6号に統一されたが、地元では今なお、江戸時代の岩城相馬道の総称として、「陸前浜街道」や「浜街道」の呼称が親しまれている。一部で奈良時代から平安時代までの古代官道とも重なる。「十王坂」は日立市十王町の台地「十王台」南端にある比高25mほどの急勾配の坂である。

